

## 四国財務局における多重債務相談の受付状況について 〈令和2年度〉

四国財務局では、借金を抱えてお悩みの方々からの相談に応じるため、専門相談員2名を配置し、多重債務問題の解決に向けた助言を行うとともに、必要に応じて弁護士や司法書士等の法律専門家へ引き継ぎを行っています。

### 1. 令和2年度の相談件数は96件。

- 相談件数は、前年度（122件）より減少しました。

### 2. 相談者の内訳は、年齢別では中高齢者、職業別では給与所得者が多数。

- 相談者の内訳をみると、「60代以上」が31.3%、「50代」が20.8%、「40代」が24.0%となっており、これらの世代で75%以上を占めています。
- 職業別では、「給与所得者」が68.8%、次いで「無職（年金生活者を含む）」が19.8%と続いています。
- 世帯年収別の構成比についてみると、100万円未満～400万円未満が65.6%と半数以上を占めていますが、400万円以上の世帯も21.9%あり、世帯収入は低くなくとも多重債務に陥っている状況がうかがえます。

### 3. 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」が約63%。

- 借入金額の内訳をみると、100万円未満～400万円未満が55.2%と半数以上を占めています。
- 借金のきっかけは、「低収入・収入の減少」の割合が62.5%と最も高く、次に「商品・サービス購入」が43.8%、「ギャンブル・遊興費」が31.3%と続いています。

### 4. 借入れは、クレジットカードのショッピング・キャッシングが約29%。

- 住宅ローンを除く借入れ先は、「クレジットカード」の割合（28.7%）が最も高く、次いで「地銀・都銀」「信金信組等」「ネット銀行」などの金融機関（合計27.8%）が続いています。

### 5. 相談対応の約23%を法律専門家に引き継ぎ。

- 当局相談窓口では、専門相談員が助言を行うほか、必要に応じ、弁護士や司法書士等の法律専門家に引き継いでおり、相談対応の約23%を専門家に引き継ぎました。

カードローン、クレジットなどの借金問題 ひとりで悩まないで相談してください！

**多重債務者相談窓口のご案内（相談無料・秘密厳守）**

**専用ダイヤル（直通）087-811-7801**

香川県高松市サンポート3番33号  
高松サンポート合同庁舎南館7階

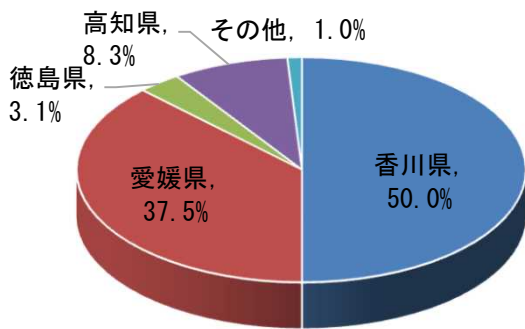
相談受付時間 9時から12時 13時から17時 月曜から金曜（年末年始および祝日を除く）

※ 相談は折り返して伺います。秘密は守られますので、安心してご相談ください。



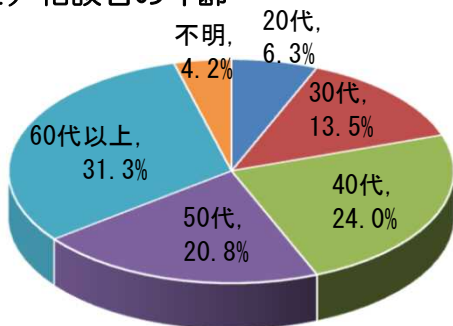
# 1. 相談者のプロフィール等

## (1) 相談者の居住地



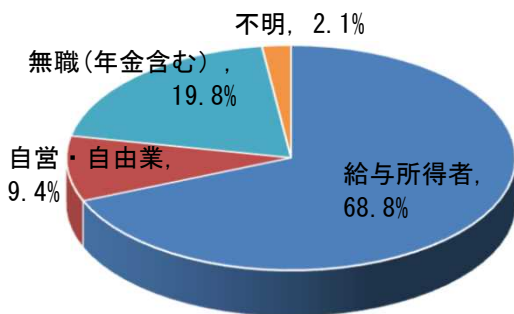
居住地	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
香川県	48	50.0%	62	50.8%	54	45.0%
愛媛県	36	37.5%	38	31.1%	47	39.2%
徳島県	3	3.1%	9	7.4%	5	4.2%
高知県	8	8.3%	11	9.0%	10	8.3%
その他	1	1.0%	2	1.6%	4	3.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	96	-	122	-	120	-

## (2) 相談者の年齢



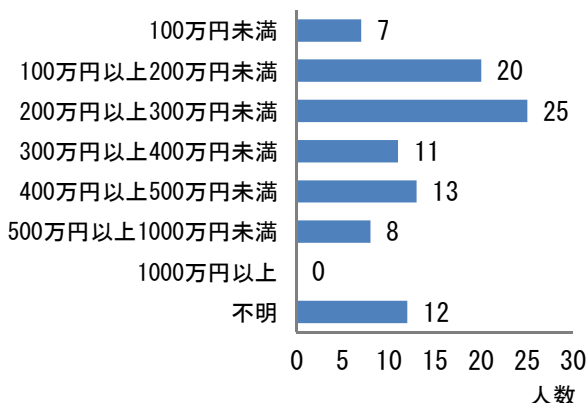
年齢	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
20代	6	6.3%	12	9.8%	9	7.5%
30代	13	13.5%	14	11.5%	16	13.3%
40代	23	24.0%	28	23.0%	28	23.3%
50代	20	20.8%	29	23.8%	25	20.8%
60代以上	30	31.3%	32	26.2%	37	30.8%
不明	4	4.2%	7	5.7%	5	4.2%
合計	96	-	122	-	120	-

## (3) 相談者の職業



職業	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
給与所得者	66	68.8%	76	62.3%	60	50.0%
自営・自由業	9	9.4%	14	11.5%	27	22.5%
家事従事者	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
学生	0	0.0%	0	0.0%	1	0.8%
無職(年金含む)	19	19.8%	30	24.6%	29	24.2%
不明	2	2.1%	2	1.6%	3	2.5%
合計	96	-	122	-	120	-

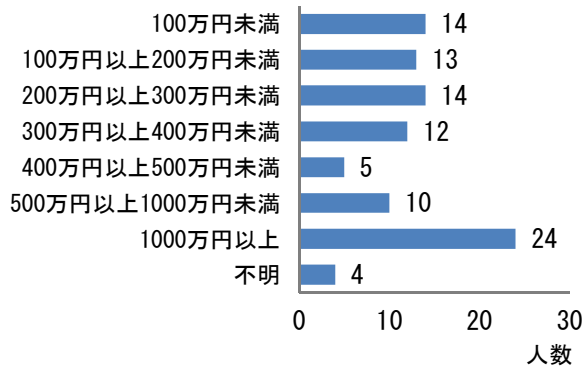
## (4) 相談者(世帯)の年収



年収	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
100万円未満	7	7.3%	10	8.2%	14	11.7%
100万円以上200万円未満	20	20.8%	17	13.9%	19	15.8%
200万円以上300万円未満	25	26.0%	12	9.8%	13	10.8%
300万円以上400万円未満	11	11.5%	18	14.8%	20	16.7%
400万円以上500万円未満	13	13.5%	17	13.9%	18	15.0%
500万円以上1000万円未満	8	8.3%	20	16.4%	12	10.0%
1000万円以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	12	12.5%	28	23.0%	24	20.0%
合計	96	-	122	-	120	-

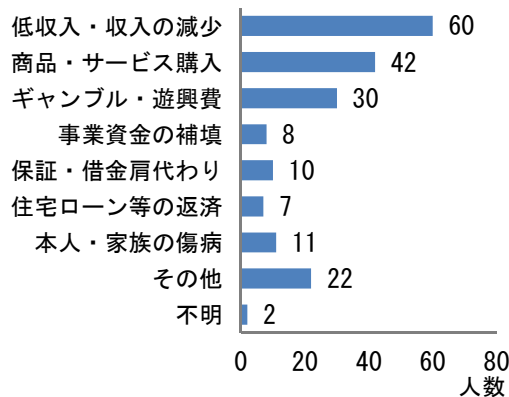
## 2. 相談内容

### (1) 借金の金額



借金の金額	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
100万円未満	14	14.6%	12	9.8%	12	10.0%
100万円以上200万円未満	13	13.5%	14	11.5%	15	12.5%
200万円以上300万円未満	14	14.6%	21	17.2%	18	15.0%
300万円以上400万円未満	12	12.5%	12	9.8%	11	9.2%
400万円以上500万円未満	5	5.2%	9	7.4%	8	6.7%
500万円以上1000万円未満	10	10.4%	23	18.9%	24	20.0%
1000万円以上	24	25.0%	27	22.1%	21	17.5%
不明	4	4.2%	4	3.3%	11	9.2%
合計	96	-	122	-	120	-

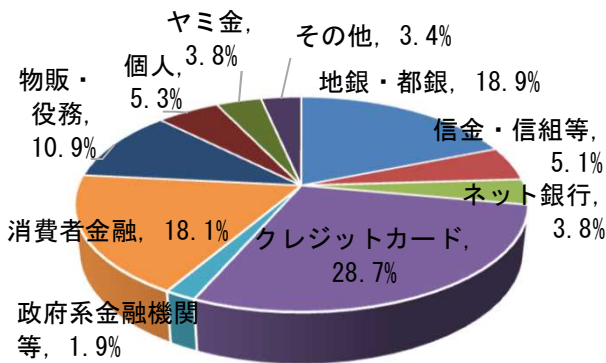
### (2) 借入れのきっかけ



借入れのきっかけ	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比
低収入・収入の減少	60	62.5%	78	63.9%	82	68.3%
商品・サービス購入	42	43.8%	35	28.7%	29	24.2%
ギャンブル・遊興費	30	31.3%	24	19.7%	24	20.0%
事業資金の補填	8	8.3%	20	16.4%	28	23.3%
保証・借金肩代わり	10	10.4%	5	4.1%	1	0.8%
住宅ローン等の返済	7	7.3%	5	4.1%	9	7.5%
本人・家族の傷病	11	11.5%	13	10.7%	29	24.2%
その他	22	22.9%	14	11.5%	19	15.8%
不明	2	2.1%	5	4.1%	5	4.2%
回答者数計	96	-	122	-	120	-

※複数回答有

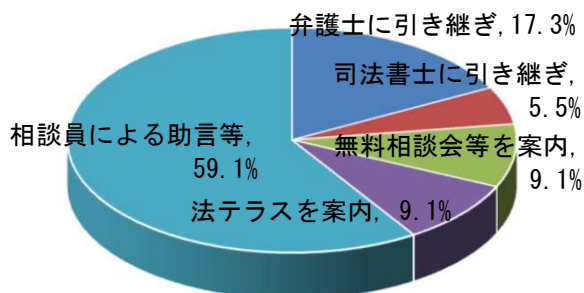
### (3) 借入先（住宅ローンを除く個人債務分）



借入先	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	先数	構成比	先数	構成比	先数	構成比
地銀・都銀	89	18.9%	115	18.4%	131	24.1%
信金・信組等	24	5.1%	34	5.4%	33	6.1%
ネット銀行	18	3.8%	27	4.3%	22	4.0%
クレジットカー	135	28.7%	213	34.1%	146	26.8%
政府系金融機関等	9	1.9%	14	2.2%	10	1.8%
消費者金融	85	18.1%	99	15.9%	99	18.2%
物販・役務	51	10.9%	42	6.7%	40	7.4%
個人	25	5.3%	46	7.4%	40	7.4%
ヤミ金	18	3.8%	16	2.6%	12	2.2%
その他	16	3.4%	18	2.9%	11	2.0%
借入先(者)数計	470	-	624	-	544	-

※複数回答有

## 3. 対応結果



対応結果	令和2年度		令和元年度		平成30年度	
	先数	構成比	先数	構成比	先数	構成比
弁護士に引き継ぎ	19	17.3%	33	23.9%	32	24.8%
司法書士に引き継ぎ	6	5.5%	2	1.4%	2	1.6%
無料相談会等を案内	10	9.1%	28	20.3%	28	21.7%
法テラスを案内	10	9.1%	7	5.1%	1	0.8%
相談員による助言等	65	59.1%	68	49.3%	66	51.2%
紹介先数計	110	-	138	-	129	-

※複数回答有

※各頁の構成比の合計は、四捨五入等のため100%にならない場合があります。

## 4. 相談・対応事例

### ◆事例1 新生活の準備などで生じた借金に苦しむ女性

(債務者：40代 給与所得者 債務総額240万円)

#### 【相談内容】

長年働いていた職場を突然解雇された。次の仕事はすぐに見つかったが、引っ越しや新生活の準備のための費用が嵩み、借金をしてしまった。その後も再就職先の給料が安かったこともあって、更に借金を繰り返した。現在は、以前から興味があった資格を取得し、その資格を活かして別の仕事をしているが、借りたり返したりを繰り返す状況で、元金が減らず精神的に苦しい。ここで頑張っただけで借金問題を解決し、生活を立て直したい。返済はしていきたいので自己破産は考えていない。良い方法はないだろうか。

#### 【相談への対応】

継続して安定した収入が見込めるので任意整理を検討してはどうかと伝え、法テラスを利用して弁護士に相談するよう提案した。また、余裕を持って生活できるようにするため、どのくらいの金額であれば借金の返済に充てられるのか、家計の見直しは必須であると助言した。

後日、法テラスを利用して弁護士に委任し、任意整理する予定であると連絡があった。先の見通しが立ったので、これから頑張っただけで生きていきたいと話していた。

### ◆事例2 浪費や親族への援助により生じた借金に苦しむ男性

(債務者：50代 給与所得者 債務総額270万円)

#### 【相談内容】

自分の浪費（食費、交際費）が原因で借金をするようになり、生活費が不足するたびに借金を繰り返した。さらに、親族から借金の申し入れがあり、援助することが重なった。生活するのに精一杯で元金は全く減らない。借金を抱えながらの生活は不安。自己破産は職業制限があると聞いた。返済はしていきたいので借金の一本化を検討しているが、他に良い方法はあるだろうか。

#### 【相談への対応】

自己破産する場合、破産手続き開始から復権するまで業務に就けない職業があること、借金の一本化は、毎月の返済額が減り、管理もしやすく楽になるが、その反面、返済期間が長期間になり、金利負担も増加し総返済額が増える場合もあることを説明。その他の方法として任意整理があるので、法律専門家に相談してはどうかと伝えたとこ、相談を希望された。相談者は法テラスの利用要件を満たさないため、初回相談無料の司法書士に繋いだ。その後、任意整理で委任することになり、方向性が明確になったので気持ちが楽になったと連絡があった。

### ◆事例3 離婚により住宅ローンの負担などに苦しむ女性

(債務者：50代 自営業 債務総額2160万円)

#### 【相談内容】

自宅を購入したが、その後夫と離婚。現在は私と子供がその家に住んでいるが、住宅ローンの負担が大きく、生活費を補填するための借金が増えてしまった。さらに収入も安定せず、返済が厳しい状況にある。子どもも就職し家計に協力してくれているので、何とかこの家を守りながら子どもと一緒に暮らしたい。

#### 【相談への対応】

自宅を残すとなると個人再生を検討することになるが、それが可能かどうか弁護士に相談するよう伝えた。相談者世帯は子どもが家計へ協力しており、法テラスの利用要件を満たさない可能性があったため、居住地に近く、初回無料で相談できる法律事務所に繋いだ。その結果、個人再生の方向で話が進んでいると連絡があった。